岩盤ボーリング柱状図

調査名　一般県道　竹原吉名線　道路改良事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	B-7	調査位置	竹原市吉名町掛之浦	北緯	34° 19′ 13.2237″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和3年 1月28日～ 令和3年 2月 1日	東経	132° 52′ 24.4152″
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 30.90m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	13.00m	地盤勾配	26° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D
					エンジン：ヤンマーTF90V-E　ポンプ：共立HP173

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分
1～3	27.90	3.00	SMS	砂岩・泥岩互層	茶褐～淡褐灰	w5	h4	E	Ⅶ	d	D
3～6	24.60	6.30	ARA	流紋岩質凝灰岩	淡緑灰	w5	h3	E	Ⅵ	d	D
6～8	22.50	8.40	RAF	流紋岩質凝灰岩	淡緑灰～暗緑灰	w4	h3	E	Ⅵ	c	D
8～9	21.60	9.30	RLA	流紋岩質凝灰岩	暗緑灰～淡橙灰	w3	h3	D	Ⅳ	c	CL
9～13	17.90	13.00	RLA	流紋岩質凝灰岩	暗緑灰～暗緑	w2	h2	B	Ⅲ	b	CM

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

記事
GL-0.2m以浅は表土。 GL-1.7m以浅は砂岩で砂質粘土状。 GL-1.7～3.0m付近は強風化した砂岩と亀裂の発達した硬質な泥岩との互層状で、淡青灰色の硬質な角礫状を呈する。角礫は径10mm～20mm程度が主体。 岩級区分:DL(粘性土)
岩組織は明瞭。指圧で容易に砕け、中砂～礫混じり粗砂状を呈する。 局部的に硬質な角礫を介在する。 岩級区分:DL(砂質土)
指圧で容易に砕け、中砂～礫混じり粗砂状を呈する。下位になるに従い硬質となる。ハンマー軽打で容易に砕け、角礫状～岩片状を呈する。GL-7.9m付近に淡褐灰色の粘土を挟む。 岩級区分:DH(軟岩I)
岩片～短棒状コアが主体。 コアは概ねハンマー軽打で割れる。コア肌は粗い。 GL-8.6m～8.8m付近は亀裂面に沿って淡橙灰色を帯びた薄い粘土を挟み、脆い。 岩級区分:CL(軟岩I)
短棒状～棒状コア主体。コア肌はやや粗いが硬質で、ハンマー強打で割れる。所々にごく薄い白色～淡橙灰色の鉱物脈を認める。 亀裂は低角度なものが主体で、亀裂面は暗褐色を呈する。 岩級区分:CM(軟岩II)

孔内水位／測定月日：2/4 6.90

標準貫入試験　深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
8	1.15	8		
	1.45	300		
30	2.15	30		
	2.45	300		
11	3.15	11		
	3.45	300		
11	4.15	11		
	4.45	300		
16	5.15	16		
	5.45	300		
50以上	6.15	50	270	
	6.42	270		
50以上	7.15	50	100	
	7.29	100		
50以上	8.15	50	70	
	8.22	70		
50以上	9.00	50	50	
	9.09	50		
50以上	10.00	貫入不能		

原位置試験

室内試験	削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
1.15 含水量粒度				D/MC					
1.45									
4.15 含水量粒度				D/DB					
4.45	1/28		66/ケーシング						
	1/29			D/MC					
	2/1		66	D/DB					

孔口標高	総削孔長
TP 30.90m	13.00m